

【グループ目標】

5領域 (1)健康・生活 (2)運動・感覚 (3)人間関係・社会性 (4)言語・コミュニケーション (5)認知・行動

- ① 子ども主体の場面を設定し、意義をもって過ごせるようにしていく。(1)(3)(5)
- ② 持ち物や予定の管理スキルを高め、自分自身でできることを増やしていく。(1)(2)(3)
- ③ 自己受容を高めていき、得意なことは伸ばすとともに、苦手なことに対して、自分で努力する力と周りに働きかけながらサポートを受ける力を身につける。(3)(4)(5)

【目標の具現化】

① 子ども達同士で声をかけ合ったり、自分たちで活動やルールを決めたりすることで、通所する目的や楽しみをもてるようにし、課題に対する効果、成長を高めていけるようにしていく。そのために、活動の中だけでなく、事業所での生活の随所で役割をもたせ、子ども主導での時間を増やしていく。注意点として、子どもに主体性をもたせるところと、指導員が決めるべきところの判断を明確にしておく。

② 活動を通して自立するために必要なスキルを伸ばし、実行していける環境を整えていく。また、自他分離の認識を高め、人と比べることなく自己の課題と向き合う力が付くよう支援していく。

③ 子どもたち自身が自己を理解するサポートを行い、指導員との1対1での対話を大切にしながら発達段階に応じて自己受容を高めていく。その中で、得意なことを伸ばして力にしていく術や苦手なことに対する向き合い方やフォローの仕方を伝えていく。マイナスな感情から逃げるのではなく、対応する経験を積ませてあげられるよう支援を行っていく。また、子どもたちが周りの人に自身の困難さを伝え、サポートを受けていくスキルを身に付けることができる支援を行う。子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、今後活躍していける環境を整えるインクルージョン教育を推進していく。

【活動日課・活動内容】

平日	学校休業日	長期休業日
学習 宿題+課題学習 16:45～選択活動 17:00～主活動 ・スキルアップ(SST 含) ・レクリエーション ・各トレーニング 等 17:15～片付け・整頓	10:00～朝の会 10:05～学習 11:00～活動① 12:00～昼食 13:00～活動② 14:00～活動③ 14:30～選択活動 15:20～片付け・整頓	・事業所外学習を定期的を実施し、公共でのマナーや様々な体験活動を通し、成長を促す。 ・グループ全員で1つのことに向けて取り組める活動を用意し、達成を目指す。 ・インクルージョンの視点から、地域交流等のかかわりを取り入れる。

ビジョントレーニングや体幹トレーニング等、ニーズに合わせて行っていく。

【指導員の評価の観点】

- 学校や家庭での背景を考慮して、個及びその日の状態に合った声掛けができていくか。
- 活動の目的を明確にして、活動の計画や実行にあたり、活動後に振り返ることができているか。
- 子ども達の良さや成長を、グループ全体で共有し、仲間同士で高め合う環境をつくっているか。